

臨時部長会議開催結果 概要

●日 時	令和 7 年 2 月 13 日（木） 午後 1 時 30 分から午後 2 時まで							
●場 所	3 A 会議室							
●出席者	■は出席（代理出席は○）							
	■	市長	■	石原副市長	■	高橋副市長	■	教育長
	■	政策部長	■	総務部長	■	税務担当部長	■	くらし安心部長
	■	文化スポーツ 部長	■	福祉部長	■	こども健康部長	■	環境産業部長
	○	はだの魅力づく り担当部長	■	都市部長	■	建設部長	■	上下水道局長
	■	教育部長	■	消防長				
進行：副市長 事務局：総合政策課長、総合政策課課長代理（政策調整担当）、担当 陪席：秘書課長								
●会 議	1 市長あいさつ 2 報告事項 令和 7 年 3 月 秦野市議会第 1 回定例会議会提出議案等について [総合政策課・財政課] 3 その他							
	●会議概要							
1 市長あいさつ ・ 9 日の日曜日に、市町村対抗「かながわ駅伝競走大会」が開催された。 ・ 市職員も監督、コーチ、選手として参加した秦野市チームは、11 月から合同練習会を重ね、最後まで粘り強く走ってくれた。残念ながら、順位は 10 位と、目標の 8 位入賞には届かなかったものの、去年の 16 位より順位を上げる結果となった。 ・ これまでの努力に敬意を表するとともに、来年の更なる活躍を期待したい。 ・ さて、本日は、来週 21 日から始まる、第 1 回定例会を控えた臨時部長会議となる。 ・ 先週、7 日までに各会派との懇談会を終え、本日、正副議長に当初議案等の申し入れを行った。明日、14 日に施政方針とともに、議案を発送する予定である。 ・ 議案等の詳細については、この後の部課長会議で説明があるため、ここでは、私の令和 7 年度における市政に臨む基本方針について共有する。 ・ 令和 7 年度当初予算は、新東名高速道路の開通や秦野丹沢サービスエリアの開設を目前に、まちの活力創出に向けた投資の時期と捉え、積極果敢に事業展開していくため、「ふるさと秦野の輝く未来へ向けて、挑み続ける予算」として編成している。 ・ 一般会計は、過去最大規模の投資である 640 億 7,000 万円とし、全会計では、1,089 億 6,600 万円となっている。 ・ まずは、災害対策について、昨年 8 月に、神奈川県西部で最大震度 5 弱の								

地震が発生し、秦野市でも震度 4 を記録した。首都直下型地震など、大規模地震発生 of 切迫性が懸念されている。また、同月末の台風第 10 号による大雨で、秦野市でも土砂崩れや浸水などの大きな被害を受けた。

- ・こうした自然災害に加え、高齢化の進行に伴う救急需要の増大や新東名における災害・救助活動など、幅広い対応が求められている。

- ・このような中、先月 1 月 25 日に「秦野市伊勢原市共同消防指令センター」が開所したが、引き続き、市民の生命と安全・安心な暮らしを守っていききたい。

- ・御承知のとおり、本市は今年の 1 月 1 日に市制施行 70 周年を迎えた。

- ・記念すべき節目となる今年は、記念事業を展開し、市民に「ふるさと秦野」への誇りと愛着をより一層深めていただくとともに、まちの魅力を市内外に広く発信し、秦野市全体で盛り上げていきたい。

- ・今年は、終戦から 80 年の節目の年でもある。

- ・平和はいつの時代においても、何より優先されるものでなければならない。「秦野市平和の日」を中心に、様々な平和関連事業を実施し、平和の大切さや命の尊さを市民と共有して、その歴史的教訓を後世に伝えていきたい。

- ・社会経済情勢では、物価高騰は今なお続き、市民生活や経済活動に様々な影響を及ぼしている。「OMOTAN コイン」を持続可能なものとするため、商業者等の販売促進の取組みを後押しするなど、魅力を更に高め、地域内消費の拡大と地域コミュニティの活性化につなげていく。

- ・令和 8 年度には、秦野駅北口の県道 705 号の対面通行開始、令和 9 年度には、新東名高速道路の全線開通と秦野丹沢サービスエリアの開設が予定されている。この好機到来に向けて、中心市街地の活性化や、新たな産業拠点の整備による企業誘致の支援などに取り組み、「表丹沢の魅力づくり」と「小田急線 4 駅周辺のにぎわい創造」を一体的に進めていく。

- ・また、名水や森林里山をはじめとする、秦野が誇る豊かな自然を生かした、「2050 年カーボンニュートラルの実現」に向けた取組みを進めるとともに、新たに「ネイチャーポジティブ（自然再興）宣言」を行い、自然環境の保全に努める。

- ・さらには、1 都 3 県初の認定を目指している都市近郊型モデルの「バイオマス産業都市構想」に基づき、バイオマス資源による経済と環境の好循環サイクルを確立するため、地域特性を生かした事業化プロジェクトに着手する。

- ・こうした、取組みを確実に進めることで、秦野に関心を持ち、「行ってみたい」、「住んでみたい」と思われる、また、市民には「いつまでも住み続けたい」と実感していただけるよう、誰もが魅力を感じる「全国屈指の森林観光都市」を目指していく。

- ・今年は、「総合計画はだの 2030 プラン後期基本計画」を策定する年となる。まち全体に活気をもたらす若者の声も大切にしながら、幅広い世代・分野の市民の英知を結集し、これからの秦野を描いていく。

- ・しかし、これらの取組みは、財政の健全化を前提としたものでなければならぬ。
- ・部局長においては、施政方針をしっかりと熟読し、内容を共有した上で、第1回定例会、そして、新年度に臨んでいただきたい。
- ・今議会は、予算の審議を中心に、長丁場の議会となるが、最後まで気を緩めることなく、万全の準備で、部局内、部局間の連携を密にしながら、それぞれしっかりと説明責任を果たしてほしい。
- ・最後に、体調管理には十分留意され、職務の遂行と議会への対応を重ねて願います。

2 報告事項

(1) 令和7年3月秦野市議会第1回定例会月会議提出議案等について

[総合政策課・財政課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし